



No.114

平成13年10月20日発行

路材協会報

路面標示材協会

東京都千代田区神田佐久間町2-13(深津ビル)

〒101-0025

Tel (03) 3861-3656

Fax (03) 3861-3605

目次

第7次交通安全基本計画にみる	理事 笹尾 和範	1
平成13年度 役員		5
半たわみ性舗装について	森 昌之	6
平成13年8末(1~8月)道路交通事故統計	事務局	14
事務局便り		16
余滴		16



第7次交通安全基本計画にみる…

理事 笹尾 和範

我が国の経済情勢は、現在、海外景気（特にアメリカ）のIT関連の減速により、半導体・液晶分野等大手電機メーカーは大幅なリストラ計画を打ち出し、また、自動車関連も減収見込みとなるなど全般に厳しいものがあり、経済の先行き不透明感から株価も大幅にダウンしている。加えて政府の不良債権処理、構造改革等により、今後更に減速されることも予想される。

こうした中、平成14年度予算の概算要求で、政府の経済財政諮問会議が公共投資開

係費の10%削減、総務省が地方単独事業10%の削減を打ち出すなどがあるので、この秋の補正予算編成や平成14年度予算編成の動向に今後注目していきたい。

一方、建設業大手50社では、官公庁からの建設工事受注額が過去最大であった1992年度の受注額水準を100とした場合、2000年度は60を下廻り、落ち込みの4分の3が地方自治体の発注分であった。財政難に喘ぐ自治体が、単独事業を中心に公共投資を劇的に減らしていることが窺える。

このように、新世紀早々より、我々の業界にとっては強烈なアゲンストの風が吹いている。しかし、我々は、環境の変化変動に対応するだけではなく、現状打破・意識改革を自ら追及する絶好の機会であるとの捕らえ方をしたい。道路交通における安全確保は社会生活に不可欠のことであり、この際、協会の役割・使命を再確認するのが一層大切なことだと思う。

平成13年度の「交通安全白書」によれば、第7次交通安全基本計画（平成13年度～平成17年度の5箇年）で、平成17年度迄に年間の交通事故死者数を8,466人以下とする事を目指している。そこで、すでにご承知の向きもあるが、同計画における施策の一部を以下に掲げたい。

1. 道路の新設、改築による交通安全対策の推進

(1)適切に機能分担された道路網の整備

自動車・自転車・歩行者の分離。ハンプ。アクセス道路。

(2)改築による道路交通環境の整備

歩道・交差点のコンパクト化、立体交差化等他。

(3)災害発生時に備えた安全の確保

道路の防災対策、緊急輸送道路を中心とした橋りょう耐震補強他。

(4)地域に応じた道路交通環境、気象情報システム

交通安全

に貢献する

エースライン®
反射材配合の
溶融施工タイプ
(JIS K5665適合品)

ユニライン®
常温施工・加熱
施工タイプ
(JIS K5665適合品)

日立路面標示・区画線用塗料

日立化成工材株式会社 (営業本部) 〒113-0034 東京都文京区湯島3-31-6 ☎(03)5688-5330

2. 交通安全施策等整備事業の推進

(1)事故多発地点対策の推進

交差点改良・視距の改良・付加車線・信号機設置と集中制御・標識の高輝度化：大型化：可変式等他。

(2)バリアフリー化を始めとする歩行空間等の整備

- ・コミュニティ道路、歩道共存道路、見やすく分かりやすい道路標識・標示（視認性の向上）
- ・高齢運転者に見やすい高輝度標示、標識の整備等

(3)円滑・快適で安全な道路交通の確保

- ・交通管制システムの充実
- ・幹線道路交差点付近の大型案内標識、路側可変標識
- ・信号機の高度化
- ・国際化への進展対応（分かりやすいローマ字化等）
- ・駐車対策
- ・道路交通情報通信システム（VICS）の整備
- ・平成12年度設置の「道路交通環境安全推進連絡会議」の積極活用

(4)災害に強い交通安全施設等の整備

- ・交通規制センター、監視カメラ、車両感知器、交通情報板等

3. 高速自動車道等における交通安全施設等の整備

(1)事故削減に向けた総合的施設の集中的実施

- ・防護さく、排水性舗装、自発光式視線誘導、高視認性区画線

(2)安全で快適な交通環境づくり

(3)高度情報技術を活用したシステムの構築

- ・ETCサービス全国800ヶ所に拡大他

路面標示用塗料

非リブ式高視認性路面標示用塗料

アズマライン ハイグリップ

道路関連資材・交通保安用品全般

セトー化成株式会社

本社・工場 〒421-0113 静岡県静岡市下川原3555番地

TEL 054-258-5561

支店・営業所

東京・大阪・九州・静岡・北陸・東北・北海道

4. 効果的な交通規制の推進

- (1)地域の特性に応じた交通規制
- (2)安全で機能的な都市交通確保のための交通規制
- (3)幹線道路における交通規制
- (4)事故多発地域における交通規制
- (5)災害発生時における交通規制

5. コミュニティゾーンの形成

ランプや狭さく等の整備。

以上はいずれも、道路交通における安全確保の基本事項として、総合的な施策、整備が計画され、現在、逐次実行に移されている。

当協会としては、前記諸施策、整備に対応した製品開発、特に「排水舗装用区画線」「高輝度標示・区画線の品質向上」「環境（大気汚染）にも対応した水性標示材」「バリアフリー法に関係した製品」を開発・上市し、更なる交通安全に貢献・寄与していく方向にあります。厳しい状況の今こそ、交通安全に携わる我々にとって危機意識を共有し、視界が開けた時には速やかに新たな成長軌道を全力疾走したいと思っておりますので、関係機関のご理解とご支援をお願い申し上げます。

参考資料 平成13年度交通安全白書（内閣府）

（日立化成工材(株) 営業本部 副本部長）



神東塗料株式会社

スーパーミライナー

（雨天夜間高視認性標示材）

シントーライナー（溶融型）

シントーライナー（常温型，加熱型）

S Pロード（すべり止め塗料）

本 社 〒661-8511 尼崎市南塚口町6-10-73 (TEL (06)6421-9865)

東京本社 〒136-0082 東京都江東区新木場4-12-12 (TEL (03)3522-2353)

平成13年度 役員

会 長	山 本 一 志	(大 崎 工 業 株)
副 会 長	山 田 耕 一	(ア ト ミ ク ス 株)
専 務 理 事	小 林 秀 雄	(路 面 標 示 材 協 会)
理 事	新 美 賢 吉	(株 キ ク テ ッ ク)
	石 野 憲 男	(信 号 器 材 株)
	実 川 俊	(神 東 塗 料 株)
	岡 田 栄 一 郎	(セ イ ト ー 化 成 株)
	武 田 均	(積 水 樹 脂 株)
	平 本 光 雄	(太 洋 塗 料 株)
	北 野 正 夫	(株 ト ウ ペ)
	岩 国 信 彦	(日 本 ラ イ ナ ー 株)
	笹 尾 和 範	(日 立 化 成 工 材 株)
	小 西 雅 之	(富 国 合 成 塗 料 株)
	藤 木 秀 之 輔	(藤 木 産 業 株)
	井 上 幸 久	(レ ー ン マ ー ク 工 業 株)
監 事	猪 又 武	(神 東 塗 料 株)
	竹 内 政 幸	(株 キ ク テ ッ ク)

(委員会関係)

業務委員長	長 谷 川 哲	(大 崎 工 業 株)
副委員長	渡 邊 宣 明	(積 水 樹 脂 株)
技術委員長	増 田 真 一	(ア ト ミ ク ス 株)
副委員長	高 木 嗣 朗	(信 号 器 材 株)

(再掲)



ATOM'X

さらに一步。

人と環境の共生に向けて。

アトムクス株式会社 (旧社名：アトム化学塗料株式会社)

本社/〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3111 FAX.03-3968-7300

半たわみ性舗装について

森 昌 之

1. はじめに

一般の車道に用いられている道路舗装は大別すれば、アスファルト系の表層をもつ舗装とコンクリート版を表層にもつ舗装とに分けられる。そして、近年、道路の状況により特殊な機能や構造をもつ舗装が普及しているが、それらの舗装は、配合や構造を工夫することにより、舗装の機能や用途を拡大したものである。

配合を工夫した舗装としては、半たわみ性舗装、グースアスファルト舗装、ロールドアスファルト舗装、排水性舗装、明色舗装、着色舗装、すべり止め舗装、およびフォームドアスファルト舗装などがある。

又、構造を工夫した舗装としては、フルデプスアスファルト舗装工法、サンドイッチ舗装工法、コンポジット舗装工法などがある。

ここでは、そのうち、交差点部やバスターミナルなどに多く用いられる半たわみ性舗装について記述する。

2. 半たわみ性舗装とは

半たわみ性舗装は、空けき率の大きな開粒度タイプの半たわみ性舗装用アスファルト混合物に、浸透用セメントミルクを浸透させたものである。又、半たわみ性舗装は、アスファルト舗装のたわみ性とコンクリート舗装の剛性を複合的に活用して、耐久性のある舗装を造ろうとするものである。

交差点部、バスターミナル、料金所付近など、耐流動・耐油性及び明色性や景観などの機能が求められる場所のほか、工場、ガソリンスタンドのような耐油性・難燃性

21世紀にふさわしい
環境づくりに取り組む



路面標示用塗料(溶融用)

キクスイ

キクスイ ペイント
(常温用・加熱用)

公共環境を表現する

株式会社キクテック

本社 〒457-0836 名古屋市南区加福本通1-26
TEL 052-611-0680 (代) FAX 613-3934

の機能が求められる場所にも適用される。

半たわみ性舗装のうち、母体アスファルト混合物の全層に浸透用セメントミルクを浸透させたものを全浸透型、半分程度浸透させたものを半浸透型という。半たわみ性舗装を車道に用いる場合は、耐流動性や耐久性などを考慮して、一般に全浸透型を用いる。

3. 材料および配合

半たわみ性舗装用アスファルト混合物に用いる材料、および浸透用セメントミルクの材料について以下に示す。

3-1 半たわみ性舗装用アスファルト混合物の材料（成分）

アスファルト舗装に使用する材料には、瀝青材料、骨材、フィラーおよび安定剤などといった主要な材料をはじめとして多くのものがある。

3-1-1 瀝青材料

瀝青材料には、石油アスファルト、改質アスファルト、トリニダットレイクアスファルト（天然アスファルト）および石油アスファルト乳剤などがあり、加熱アスファルト混合物には、石油アスファルト・改質アスファルトが主として使用される。

3-1-2 骨材

骨材の材質や粒度は舗装の性状に大きく影響を与える。骨材には碎石・玉砕・砂利・鉄鋼スラグ・砂および再生骨材などがある。

3-1-3 フィラー

フィラーはアスファルトと一体となって骨材の間隙を充てんし、混合物の安定性や耐久性を向上させる役割がある。フィラーには、石炭岩やその他の岩石を粉砕した石粉、消石灰、セメント、回収ダストおよびフライアッシュなどがあり、石灰岩を粉砕した石粉が最も多く用いられている。

路面標示用塗料

トアライナー



MR(溶融)・P(ペイント)

株式会社 トウペ

本社／堺市築港新町1丁5番地11

〒592-8331

☎0722(43)6419

支店／東京都中央区日本橋室町2丁目3番14号(古河ビル)

☎03(3279)6441(大代)

〒103-0022

3-2 浸透用セメントミルク

浸透用セメントミルクの材料には、用途に応じてセメント、フライアッシュ、けい砂、石粉および添加剤などが用いられる。

浸透用セメントミルクには、普通タイプ、早強タイプおよび超速硬タイプがある。一般に普通タイプは、普通ポルトランドセメント、早強タイプは早強ポルトランドセメントを使用し、超速硬タイプは超速硬セメントまたは前述のセメントに添加剤として急硬化剤を加えたものを使用している。

ひび割れ抑制などに用いる添加剤には、ゴム系エマルジョン、樹脂系エマルジョン、アスファルト乳剤および高分子乳化剤などがある。

浸透用セメントミルクの標準的性状を表1に示す。

表1 浸透用セメントミルクの標準的性状

項目	標準的性状	試験方法
フロー値 (Pロート) (秒)	10~14	
圧縮強度 [7日養生] (kgf/cm ²) (MPa)	100~300 (9.8~29.4)	JIS R 5201
曲げ強度 [7日養生] (kgf/cm ²) (MPa)	20以上 (2.0以上)	

3-3 半たわみ生舗装用アスファルト混合物の配合

半たわみ性舗装用アスファルト混合物の配合は表2を参考に、表3の標準的性状を満足するように決められる。

日本のブランド

ボンライン

 **信号器材株式会社**

〒211-8675 川崎市中原区市ノ坪160 ☎044(411)2191

表2 半たわみ性舗装用アスファルト混合物の種類と標準的な粒度範囲

ふるい寸法		混合物の種類	
		I 型	II 型
通過 質量 百分 率 (%)	26.2mm		100
	19.0mm	100	90~100
	13.2mm	95~100	35~70
	4.75mm	10~35	7~30
	2.36mm	5~22	5~20
	600 μm	4~15	
	300 μm	3~12	
	75 μm	1~6	
アスファルト量 (%)		3.0~4.5	
セメントミルクの最大 浸透厚さの標準		5 cm前後	10cm前後

マーシャル安定度試験に対する性状を満足しても、アスファルト量が多いと施工時に分離を起こしたり、層の下部にアスファルトが溜まる等の現象が生じ、浸透用セメントミルクが十分浸透しないことがある。

表3 マーシャル安定度試験に対する標準的性状

密度 (g/cm ³)	安定度 (kgf) (kN)	フロー値 (1/100cm)	空隙率 (%)	突固め 回数 (回)	突固め温度 (℃)
1.90以上	300以上 (2.94以上)	20~40	20~28	50	アスファルトの動粘度が300±30cSt (mm ² /s) (140±15セルボイトフロール秒)になる温度

路面標示用塗料

タイヨーライン (溶融型)

マークラインC2000 (常温型)

マークラインH5000 (加熱型)



大洋塗料株式会社

本社 〒144-0033東京都大田区東糀谷6-4-18 TEL03-3745-0111代
第2工場 〒144-0033東京都大田区東糀谷5-8-3 TEL03-3745-3921

4. 施工

浸透用セメントミルクの製造は、一般に移動式ミキサによって行うが、工事規模によっては専用の移動式混合プラントを用いることもある。

浸透用セメントミルクの施工は、舗装体表面の温度が50℃以下になってから行う。その場合、舗装体にごみ、泥、水などが残っていないことを確認する。一般に浸透作業は振動ローラなどにより行う。

セメントミルクが舗装表面に残っていると、路面のすべり抵抗値が低下することがあるので、骨材の表面の凹凸が現れる程度にセメントミルクをゴムレーキなどで除去する。特にすべり止め対策を必要とするところは、けい砂の使用および余剰セメントミルクの除去など、材料および施工法などで対処することが必要である。

交通開放までの一般的な養生時間は、表4に示すとおりである。

表4 交通開放までの養生時間の例

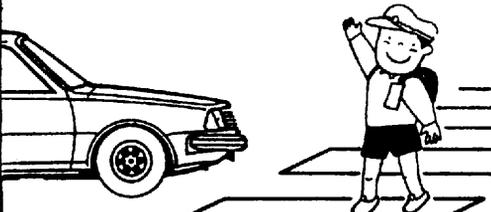
セメントミルクの種類	養生時間
普通タイプ	約3日
早強タイプ	約1日
超速硬タイプ	約3時間

浸透用セメントミルクを注入前に交通開放すると、骨材のはく奪、飛散やごみ、泥などによる汚れが生じることがあるので、注入前に交通開放を行わないようにする。

各種塗料製造販売
道路標示材製造及施工



富国合成塗料株式会社



〒652-0816 神戸市兵庫区永沢町3丁目7-19
(本社) TEL (078)575-6600 (代)

〒651-2235 神戸市西区榎谷町長谷佃井南145
(工場) TEL (078)991-0158

(支店)大阪 (営業所)東京・名古屋・豊橋・姫路

フコライン



写真1 バス停

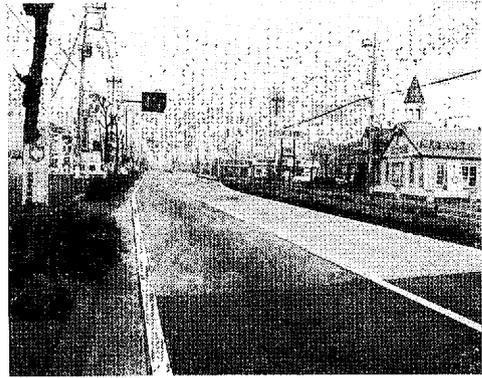


写真2 交差点部

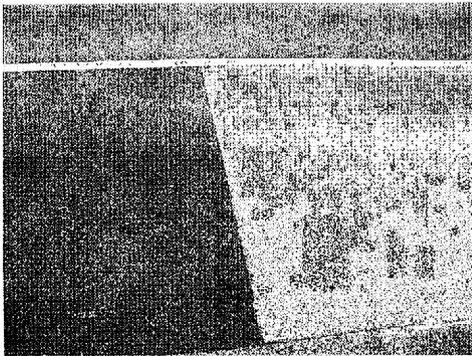


写真3 舗装状況

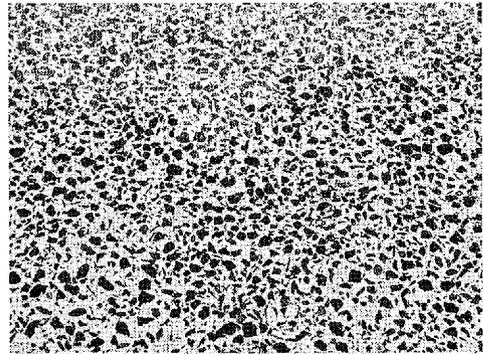


写真4 舗装表面

5. 半たわみ性舗装と路面標示

半たわみ性舗装にも通常の路面標示が施工される。半たわみ性舗装上の路面標示には、コンクリート舗装上の路面標示に見られるものと同様の塗膜上の欠陥が生ずる。

総合力でニーズにお応えする セキスイ道路標示材

- 熔融タイプのジスライン
- 感圧貼付シートのジスラインDX
- 加熱融着シートのジスラインS

道路標示材の専門メーカーとして
セキスイは豊富な経験と技術で
優れた製品を創り、交通安全に寄与しています。
耐久性・耐摩耗性・鮮明さは高い評価をいただいています。



交通安全・環境保全に貢献する
積水樹脂株式会社

本社

〒530-0047 大阪市北区西天満二丁目4番4号

(堂島岡電ビル6階) TEL.06(6365)3244

ジスライン



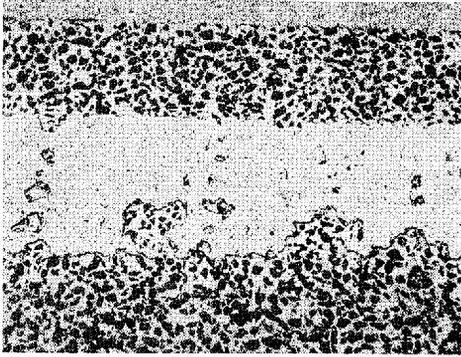


写真5

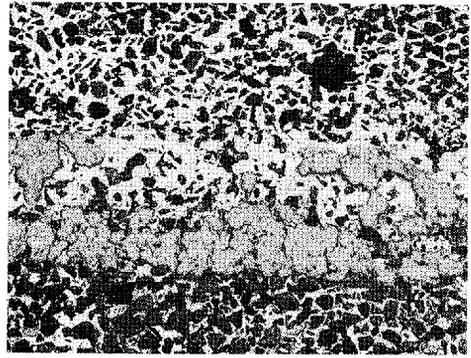


写真6

例えば、写真5及び写真6のような路面標示のはがれ現象は、半たわみ性舗装もコンクリート舗装の表面と同様に、路面と塗膜が物理的接着のために起こるものである。このはがれ現象の対策としては、コンクリート舗装路面と同様に、レイタンスの除去とプライマー処理を十分に行うことであるが、完全にはがれ現象を防止することは困難である。

6. まとめ

アスファルト舗装は一般に10年の耐久性を持つように設計されているが、交差点部では、2～3年ごとに舗装を打ち替えるところさえあるほど劣化が速くなっている。

このような問題を解決する目的で、各種の舗装が研究され試験施工を行うなかで、半たわみ性舗装が、施工期間、コスト面などから普及している。工事費は従来のアスファルト舗装の1.4倍程度になるが、開粒度舗装にセメントミルクを入れるだけなので、従来と同じ施工技術で利用できることから、今後さらに導入されることと思われる。

溶融式路面標示塗料

大阪府堺市上8-9番地 TEL 0722-72-1453 (代)
 東京都大田区東糀谷4-1-4 TEL 03-3743-3004 (代)

ラインファルト® 大崎工業株式会社

本社 〒593-8311 大阪府堺市上8-9番地
 TEL 0722-72-1453 (代)
 営業所 〒144-0033 東京都大田区東糀谷4-1-4
 TEL 03-3743-3004 (代)

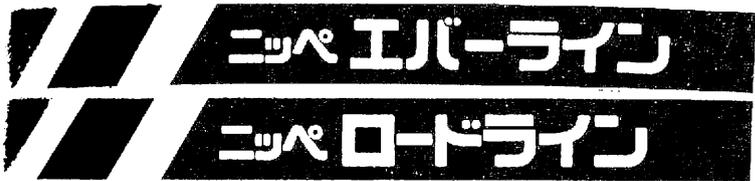
これにともない、半たわみ性舗装への路面標示の施工についても、コンクリート舗装同様に研究を重ね、より良い製品の提供をしていきたいと思うものである。

以上簡単ではありますが、最近普及している半たわみ性舗装について概要を述べ、ご参考に供します。

参考資料 (社)日本道路協会：アスファルト舗装要綱 (平成13年3月)

(株式会社キクテック 関東工場長 路材協技術委員)

「安全・円滑・快適」な道づくりを目指して



ニッペ エバーライン
ニッペ ロードライン

 **日本ライナー株式会社**

〒105-0014 東京都港区芝二丁目17番11号 パーク芝ビル
PHONE;03-5419-9681 FAX;03-5419-9688

路面標示用塗料3種[レーンマーク]製造

レーンマーク工業株式会社

83年度中国通産局長表彰受賞
日本工業規格表示許可工場

〒731-1142 広島市安佐北区安佐町飯室字森城6864
TEL (082) 835-2511 (代)

平成13年5月末(1～5月)道路交通事故統計

(警察庁交通局交通企画課資料より)

事務局

平成13年8月末の道路交通事故は、前年同期と比べ死者数は減少している。しかし、発生件数及び、負傷者数は依然として増加している。

状態別死亡事故件数

状態別	人数	構成比 (%)	前年同期比
自動車乗車中	2,421	44.0	- 190人 (16~24歳 520人)
歩行中	1,425	25.9	- 130人 (75歳以上 525人)
自転車乗車中	615	11.2	- 4人
自二乗車中	525	9.6	+ 8人
原付乗車中	496	9.0	- 5人
その他	15	0.3	+ 5人

昼夜別死亡件数

	件数	構成比 (%)	前年同期間比 (件)
昼間	2,617	49.6	- 9
夜間	2,662	50.4	- 276

昼夜間別に事故発生地点の道路形状を比較すると、昼間では交差点及び交差点付近の事故の割合が昼間47.4%と夜間より高く、夜間は、一般道路での事故の割合が38.6%と昼間より高い。

高性能溶着式路面標示用塗料

マジライク

藤木産業株式会社

〒592-8331 大阪府堺市築港新町2-6-50
TEL. 0722-44-5588(代) FAX. 0722-44-6639

都道府県別交通事故発生状況（概数）

8月末

管区	都道府県	発生件数			死者数				負傷者数		
		13年	増減数	増減率	13年	増減数	増減率	順位	13年	増減数	増減率
北海道	青森	6,111	191	3.2	68	-12	-15.0	30	7,764	292	3.9
	岩手	3,577	-266	-6.9	85	4	4.9	28	4,485	-348	-7.2
	宮城	7,916	-369	-4.5	99	-27	-21.4	22	10,219	-293	-2.8
	秋田	3,340	65	2.0	47	-10	-17.5	43	4,231	283	7.2
	山形	5,550	942	20.4	51	-9	-15.0	40	7,037	1,161	19.8
	福島	10,043	394	4.1	127	5	4.1	18	12,838	643	5.3
	計	36,537	957	2.7	477	-49	-9.3	**	46,574	1,738	3.9
東京	57,362	-1,820	-3.1	226	-34	-13.1	6	66,067	-2,092	-3.1	
関東	茨城	16,445	-37	-0.2	235	19	8.8	5	21,141	-33	-0.2
	栃木	10,148	241	2.4	133	-10	-7.0	16	13,304	488	3.8
	群馬	12,493	-914	-6.8	111	-11	-9.0	20	16,476	-1,147	-6.5
	埼玉	33,658	1,310	4.0	246	-5	-2.0	4	42,107	1,392	3.4
	千葉	23,550	-845	-3.5	256	-13	-4.8	2	29,959	-1,252	-4.0
	神奈川	44,917	-502	-1.1	196	-12	-5.8	10	54,838	-928	-1.7
	新潟	9,460	9	0.1	133	-17	-11.3	16	11,939	250	2.1
	山梨	4,830	90	1.9	61	16	35.6	33	6,379	120	1.9
	長野	9,448	-6	-0.1	117	-6	-4.9	19	12,595	140	1.1
	静岡	26,887	1,454	5.7	188	-9	-4.6	11	34,620	1,933	5.9
計	191,836	800	0.4	1,676	-48	-2.8	**	243,358	963	0.4	
中部	富山	5,221	-79	-1.5	51	-7	-12.1	40	6,353	39	0.6
	石川	6,011	-261	-4.2	64	0	0.0	32	7,518	-280	-3.6
	福井	3,455	22	0.6	39	-12	-23.5	46	4,225	-53	-1.2
	岐阜	9,391	-159	-1.7	139	-21	-13.1	13	13,028	-92	-0.7
	愛知	36,749	1,786	5.1	254	-39	-13.3	3	45,722	2,718	6.3
	三重	8,125	173	2.2	134	-2	-1.5	14	10,737	238	2.3
	計	68,952	1,482	2.2	681	-81	-10.6	**	87,583	2,570	3.0
近畿	滋賀	6,165	-19	-0.3	87	14	19.2	25	8,360	2	0.0
	京都	12,548	126	1.0	104	-2	-1.9	21	15,654	124	0.8
	大阪	40,943	329	0.8	211	-36	-14.6	8	49,371	547	1.1
	兵庫	27,452	1,371	5.3	216	-7	-3.1	7	33,952	1,806	5.6
	奈良	6,210	435	7.5	55	-14	-20.3	36	7,144	419	6.2
	和歌山	5,981	119	2.0	65	-2	-3.0	31	7,427	266	3.7
	計	99,299	2,361	2.4	738	-47	-6.0	**	121,908	3,164	2.7
中国	鳥取	2,039	79	4.0	37	5	15.6	47	2,657	131	5.2
	島根	2,196	103	4.9	44	6	15.8	44	2,516	49	2.0
	岡山	11,594	1,030	9.8	134	15	12.6	14	14,614	1,502	11.5
	広島	14,208	609	4.5	159	-3	-1.9	12	18,154	642	3.7
	山口	6,661	-534	-7.4	87	-18	-17.1	25	8,070	-720	-8.2
計	36,698	1,287	3.6	461	5	1.1	**	46,011	1,604	3.6	
四国	徳島	4,432	73	1.7	61	14	29.8	33	5,548	126	2.3
	香川	7,495	-256	-3.3	81	2	2.5	29	9,479	-179	-1.9
	愛媛	7,558	15	0.2	92	-5	-5.2	24	9,360	-36	-0.4
	高知	3,536	-269	-7.1	40	-18	-31.0	45	4,197	-414	-9.0
計	23,021	-437	-1.9	274	-7	-2.5	**	28,584	-503	-1.7	
九州	福岡	32,126	-1,852	-5.5	200	9	4.7	9	40,192	-1,770	-4.2
	佐賀	6,876	2,326	51.1	55	-2	-3.5	36	9,070	3,588	65.5
	長崎	5,437	-45	-0.8	50	-17	-25.4	42	6,981	-198	-2.8
	熊本	8,236	-285	-3.3	96	-14	-12.7	23	10,694	-402	-3.6
	大分	5,125	34	0.7	55	-6	-9.8	36	6,824	182	2.7
	宮崎	4,781	-462	-8.8	60	-9	-13.0	35	6,081	-483	-7.4
	鹿児島	8,655	92	1.1	87	15	20.8	25	10,634	65	0.6
	沖縄	3,078	382	14.2	54	0	0.0	39	3,613	593	19.6
計	74,314	190	0.3	657	-24	-3.5	**	94,089	1,575	1.7	
合計	607,426	4,710	0.8	5,497	-316	-5.4	**	759,313	8,967	1.2	

注1 発生件数、負傷者数は概数である。

2 増減数（率）は、平成12年確定数との比較である。

1. 委員会活動

1) 業務委員会は、路面標示の需要調査を実施しました。

概況的には、残念ながら減少傾向にあり地域によっては10%強の所もあります。

2) 技術委員会が編集・発行した「路面標示材料」は、お蔭様で多くの方々からご利用を頂き有難うございました。未だ若干部数がありますので、お求めの方は当協会事務局までお申し込み下さい。

余滴

時の経つのは、早いもので平成13年度の上期が終わりました。

最近の景況感は、3ヶ月連続で悪化していると報じられており、各企業の業績はどうなるのでしょうか。

また、大変衝動的であったことは、アメリカでの同時多発テロによって一瞬にして何千人にももの尊い命が奪われ、大変なショックを受けました。

このような事は、二度と起きてはならない事だと思います。

小泉内閣による構造改革、規制緩和や、公的機関の民営化等が進められております。大いなる好転を期待したいところです。

一方、平成13年8月末の道路交通事故による死者数は、減少しているものの事故件数や、負傷者数は依然として増加しております。人命の尊さを再確認し、関連諸官庁の指導の下、関連の皆様と共に交通安全に努力寄与したいと思います。

(小林)

路面標示用塗料の総合解説書

路面標示材料

JIS K5665「路面標示用塗料」に最新の路面標示塗料等の追加及び工法や表現方法を改めました。

(内容)

第Ⅰ部 基礎編

路面標示用塗料の概要
路面標示用塗料の原料
路面標示用塗料の試験項目と試験方法
路面標示用塗料の施工法
路面標示用塗料などの取扱い上の注意事項
路面標示用塗料の塗膜面に生じる欠陥と対策
高視認性標示
水性路面標示塗料
路面標示塗料用ガラスビーズ
路面標示の反射輝度
その他の路面標示用材料(貼り付け式、埋設式、等)

第Ⅱ部 応用編

プライマーの効果
路面標示用塗料の黄色
路面標示の夜間視認性
すべり摩擦係数と路面のすべり
安全を守るための関係法規
路面標示のクラック
路面標示用塗料のピンホール、ふくれ
路面標示用塗料の汚れ
溶融用塗料塗膜の変形
路面標示用塗料(1種、2種)のにじみ
熱履歴による塗料の品質低下

B5版 頒価2,800円(送料共)

申し込みは **路面標示材協会事務局**

東京都千代田区神田佐久間町2-13 深津ビル
TEL.03-3861-3656 FAX.03-3861-3605